

【評価対象事業】

- ・放課後等デイサービス

【調査機関】

- ・令和4年12月12日～令和5年1月13日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター指導員

【回答率】

- ・配布数：7名 回収数：7 回収率：100%
- *回答を分析し、次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・センター内の環境や設備等の配慮は、適切に行っているという評価です。業務改善、適切な支援の提供、関係機関や保護者との連携、非常時の対応は、概ね適切に行っているという評価です。
- ・職員の専門性や資質については、昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンラインでの研修が増え、学習をする機会が増えてきました。職員一人ひとりの意識や自主的な研修、学習意欲の向上がみられるのではという評価です。
- ・学校が長期休業中の際は、指導時間を長くして、季節に応じた内容や達成感を持てるような活動を考え工夫するようにしていますが、夏休みは新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた課外活動が中止となりました。

【課題】

- ・今後も利用者に安心して通園していただけるよう、職員の体調管理の意識向上、センター施設内や遊具等の消毒を行い、感染症予防の徹底が引き続きの課題となります。
- ・職員の専門性や資質については、評価を踏まえて反省し、職員一人ひとりの意識の向上が今後も課題と考えます。新型コロナウイルス感染症の状況から、オンラインでの研修等も増えてきているので、可能な限り職員一人ひとりが学習をする姿勢が必要と考えます。
- ・学校の長期休暇の際の指導は、感染状況をみながらにはなりますが、指導時間の配慮や、プログラム内容を考え支援したいと考えます。

【今後に向けて】

- ・今後も利用児童と保護者の方一人ひとりに寄り添い、適切な支援の提供や職員の資質向上を目指します。次年度は、社会福祉法人麦の子会の臨床発達心理士による地域支援の受講、道立施設専門支援事業で北海道総合医療・療育センターの医師による研修会の受講、北海道通園センター連絡協議会主催の研修会の受講を予定しています。その他随時研修会、学習会の案内があれば参加を希望します。
- ・学校や認定こども園、他の事業所等との連携に努めます。
- ・引き続きセンター施設内の消毒等を行い、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症予防の徹底に努めます。